

〈表1〉

2017年度 一時保育事業実施状況				
自治体名	一般型	余裕活用型	幼稚園型	合計
横浜市	409	9	67	485
川崎市	89	0	31	120
相模原市	72	18	15	105
横須賀市	8	0	9	17
平塚市	19	0	8	27
鎌倉市	11	0	2	13
藤沢市	20	0	9	29
小田原市	5	0	2	7
茅ヶ崎市	23	5	5	33
逗子市	4	0	0	4
三浦市	2	0	0	2
秦野市	13	0	18	31
厚木市	12	0	11	23
大和市	21	8	11	40
伊勢原市	8	0	7	15
海老名市	12	0	7	19
座間市	6	1	8	15
南足柄市	1	0	0	1
綾瀬市	5	0	2	7
葉山町	2	0	0	2
寒川町	0	4	1	5
大磯町	1	0	2	3
二宮町	1	0	1	2
中井町	2	0	1	3
大井町	1	0	0	1
松田町	1	0	2	3
山北町	0	0	0	0
開成町	2	0	0	2
箱根町	3	0	0	3
真鶴町	0	0	0	0
湯河原町	1	0	0	1
愛川町	2	0	0	2
清川村	1	0	0	1
合計	757	45	219	1,021
	802			

※一般型：保育所、認定こども園、子育て支援センター等
 ※余裕活用型：保育所、認定こども園、地域型保育事業（小規模保育事業等）で利用定員数に定員が満たない場合
 神奈川県福祉子ども未来局資料より

フィールドワークから

一時保育は地域に開かれた窓

一時保育は丁寧な聞き取りから
 子育て子育て支援センター
さんぽ（横浜市都筑区）



横浜市乳幼児一時預かり事業実施。2017年度は述べ4,097人を受け入れ

一時保育のために
 認可保育園をつくった
さくらの森 保育園
 （大和市）



認可定員は60人
 一時保育定員は10人
 2017年は一時保育で述べ2,125人を受け入れ

一時保育の利用を通じて、子どもや家庭の困難な状況が読み取れる事例もあります。精神疾患やネグレクト、育てにくい子どもの子育てに疲れているなど様々なケースがあり、ソーシャルワークスキルを求められる場面も多いと言います。一時保育は子どもや家庭のSOSをキャッチし、支援に繋げる機能を持っています。地域に開かれた窓として、本来誰でも利用できることがことが望ましいはずです。

子どもの育ちを社会で支える

2017年度、国内の出生数は94万6060人で過去最低となり、出生率も1.4%台で横ばいを続けています。この現状でもなお解消されない待機児童問題。「ワンオペ育児」に象徴される親たちの負担感や孤立感。子どもの命が奪われてしまう痛ましい事件も後を絶ちません。子育てを巡る様々な課題への取組みが急がれます。

神奈川ネット子育て支援制度調査チームでは、多様なニーズに多様なサービスとして「一時保育」に着目し、自治体調査やフィールドワークを実施しました。「リフレッシュしたい」「産前産後のサポートがほしい」「子どもが小さいうちは短い時間で働きたい」など、一時保育を利用する理由は様々です。一時保育のスタッフの中には「短時間なら働ける」という子育て中の保育士も多く、復職へのステップにもなっています。

しかし、予約は取りづらく十分に利用できる状況ではありません。2017年度4月現在、県内2072カ所の保育所等（※）が開設されましたが、一時保育は802カ所での実施にとどまりました。〈表1〉また、一時保育の利用料金や利用対

提 案

子育てを楽しむために！

●多様な保育で子育てを応援

どんな時でも身近な地域で利用できる一時保育を広げます
 派遣型サービスを充実させます

●家族を丸ごと支援

相談機能を充実させます
 ソーシャルワークスキルを向上させます

●地域の資源を活用

小規模保育と幼稚園の一時保育・延長保育の連携で待機児童対策を進めます

多様なニーズに応える

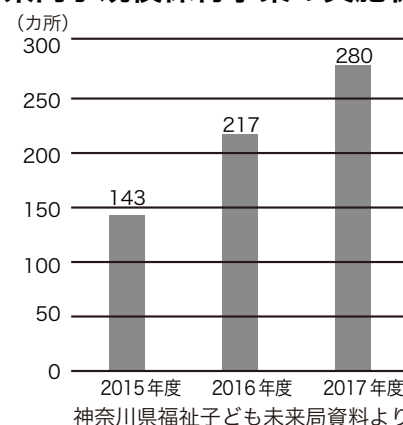
神奈川ネット子育て支援制度調査

象年齢、情報提供方法やその内容など、自治体の取組みには差が見られます。
 （※）保育所・認定こども園・小規模保育事業等

●地域の資源を生かした待機児童対策を

神奈川ネットでは、身近な地域に家庭的で小規模な保育施設の導入を提案してきました。県内の小規模保育は増えてきましたが、3歳からの連携園確保や園庭が課題です。一方で、昨今は幼稚園の定員割れも課題となっています。幼稚園の一時預かり・延長保育を進めて小規模保育事業との連携園を増やし、地域に根差した既存の社会資源を守りながら待機児童対策に向き合う必要があります。

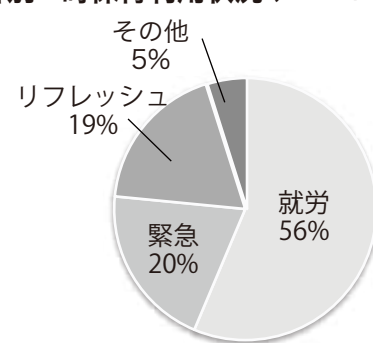
●県内小規模保育事業の実施状況



■認可保育所の一時保育 利用料金の実態調査 （データが得られた14自治体）

料金設定	実施自治体
公立・民間園ともに一律料金設定	横浜市 相模原市 横須賀市 藤沢市 厚木市
公立園のみ一律料金設定 民間園は各園独自設定 （※二宮町：民間園は実施なし）	川崎市 鎌倉市 大和市 綾瀬市 二宮町
公立園は実施なし 民間園は各園独自設定	平塚市 逗子市 海老名市 座間市

■要件別一時保育利用状況（2016年度）



〈データが得られた10自治体〉
 横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、厚木市、伊勢原市、座間市、二宮町

神奈川ネット子育て支援制度調査チーム調べ

社会全体で子どもが育つ環境を整える「まち保育」

子どもの活動を家庭や保育・教育施設にとどめず、身近な地域で過ごす場や機会を開き、まちで子どもが育っていく土壌をつくる必要があります。地域で子どもと出会い、出会いをつないで関係性を広げることで、子どもや子どもが育つ環境に関心を持つ大人が増えていきます。虐待によって子どもの命が絶たれるようなことがあってはなりません。「子育てに困った親のSOSに社会が気づく」、「親は困った時に相談できる場所を知っている」といった好循環を創り、一人で抱え込まない社会にひらく子育てができる環境を整えていきます。

